様式３(2015.06改)

作成日　平成 29年 3月　30日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200248
事業所名	グループホーム 朝日

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	・子ども会の獅子舞が訪れたり、「国府宮裸祭り」にちなんだパレードや大鏡餅作りを見たりなど、郷土の行事を通して地域との交流を深めている。地域で開催されているサロンに毎月参加し、人々と触れ合う機会を大切にしている。また、散歩や買い物、喫茶店などに出かけ、近隣の人との触れ合いに心がけている。腹話術やオカリナ奏者などのボランティアの受け入れもあり、楽しい交流をしている。町内会に加入し、総会や地域の防災訓練に参加し地域との関わりを深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	・家族や町内会長、市の担当者や地域包括支援センター、事業所の職員が出席して年6回開催している。事業所の活動状況を説明したり、地域情報交換などをして活発な話し合いがされている。年間で会議内容を決めて案内を配布し、議事録はファイルにして見やすい場所に置いている。出された意見や要望などは職員で検討し、運営に反映させるようにしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	・更新手続きに出向いたり、推進会議資料などの配布や生活保護受給利用者の相談事項などで、行政担当者と情報交換をしたり、指導や助言を得たりして、協力関係を深める様にしている。市主催の研修等に参加して、情報交換などをして良好な関係を継続している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	・入居者からは日常の会話やケアの中で把握したり、運営推進会議や行事の後に感想を聞いたりしている。家族からは面会や行事の時に意見や要望を聞き、運営に反映させている。 年4回事業者便りを家族に届けたり、ブログで事業所の様子を配信し、家族に安心と信頼感を届けている。また、家族に年1回、アンケートを行い、職員で協議して運営に活かすように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	○	○	○	○	○	◎			